

環境教育の充実

自然環境や資源の有限性等の中で、持続可能な社会をつくるために、自ら学び行動する児童生徒の育成を目指す。

1 現状と課題

自然環境や資源の有限性等の中で、持続可能な社会をつくるためには、日頃から自分との関わりにおいて環境を意識した生活や責任ある行動をとれる児童生徒の育成が求められる。

2 主な施策と学校での取組

(1) 主な施策

「杜の都のエコ・スクール活動」の推進

仙台市「杜の都の環境プラン」に基づき、児童生徒一人一人が環境問題について理解し、環境への負荷が少なく地球環境にやさしい学校生活や環境の保全について、主体的に考え実践する「杜の都のエコ・スクール」活動を推進する。

また、その活動内容を教育委員会のホームページから発信し、環境教育の充実に資するとともに、広く市民に公表する。

(2) 学校での取組

- ① 児童生徒や地域の実態を踏まえ、教科等横断的な視点に立った指導計画の作成。
- ② 家庭や地域、関係機関と連携した学習活動の推進。

幸中版 杜の都のエコスクール活動

プラスチック製容器包装

今年度から、プラゴミはこのゴミ箱を使用します。ゴミ物が濡れるまで教室で保管し、いっぱいになったら、空気を抜いて「自分たちはみんなゴミ箱の中の「プラゴミ袋」に捨ててください。事前に事務室に切り、「プラゴミ用ビニール袋」をもらいましょう。

『プラゴミ』はプラスチック製ではありません。だからクリアファイルやストロー、ポケットティッシュのビニール、ビニールひもは違います。商品が入っていたプラスチック製の「容器」や「包装」が対象です。教室で出るものとしては、給食のストローの袋、錠剤などの薬の容器包装ぐらいいです。

紙類 各クラスに古紙回収ボックスがあるので、くしゃくしゃにしてゴミ箱に捨てるようなことはやめ、分別回収にご協力をお願いします。最終的には、環境委員が毎月分別しますが、『捨てる段階でホチキスの針を抜き、付箋を取り、分別しようする』ことが大切なので、以下の分別法を是非、覚えてください。

- **広告や色紙（赤色シール）**
白色以外の紙、表面がつるつるした紙（パンフレット類）、画用紙（白色も）です。捨てる際は、A4程度の大きさに折ってください。また、とても小さい紙（画用紙の切れ端、付箋紙など）はのりなどで紙に貼るか、普通ゴミとして捨ててください。
- **自白コピー用紙 上質紙（自白シール）**
普通の白色印刷用紙に印刷されたもので、『裏面が再利用できないもの』です。具体的には、① 両面印刷されているもの ② マジックペンで書いたもの ③ 折り目があるもの ④ 個人名が入っているもの ⑤ 日焼けしているもの
- **A4自白 裏面再利用紙（黄色シール）**
文字通り、裏面を再利用できるようなプリントです。穴開けパンチで2つ穴を開けてあるものやカラー印刷したもの、上の5つに該当しなければOKです。

普通ゴミ 今年度より、通常教室は、このゴミ箱を使用します。各クラスでビニール袋を保管し、毎日、ビニール袋ごと空気を抜いて口を縛って捨てます。（注：教室で保管するビニール袋は、あくまでも一般ゴミ専用です。ほかの用途で使用しないでください）

もちろん実践していると思いますが、給食の削りかす、チョークの粉等、飛び散ることで汚れるものは『紙などに包んで』捨てましょう。また、給食のジャム類は、瓶蓋の端に入ってきたビニール袋に包んで、口を縛って捨てましょう。ヨーグルト類も同様です。

特別教室は昨年度と変更はありません。いっぱいになったら、清掃担当（分校区清掃をしないホール等は使用者）が直接ゴミ倉庫まで捨てに行ってください。（替えのビニール袋は事務室にあります）

幸町中学校のごみ分別のきまり